

中播磨県民センター 地域創生戦略

アクション・プランについて

1 地域創生戦略について

(1) 地域創生の意義

- ・ 少子高齢化の進展や本格的な人口減少の中にあっても、人口減少を抑制しつつ、将来にわたり活力ある地域社会を構築していくことが県政の最重要課題となっている。
- ・ 本県では、地域創生を県政の基本政策に位置付け、継続的に取り組む姿勢を明らかにするため、平成27年2月、全国に先駆け、地域創生の基本理念やその実現に向けた戦略の策定等の県の責務を定めた地域創生条例を制定した。
- ・ この条例の理念を踏まえ、平成27年10月、2060年における兵庫県の目指すべき姿を展望しつつ、人口規模及び経済状況を念頭に、2020年までの5年間で取り組むべき対策と目標を定めた地域創生戦略（2015-2019年度）を策定した。

(2) 推進体制

ア 「地域創生推進本部」の設置（平成27年4月）

地域創生の推進について、全庁を挙げて総合的に取り組むため、知事を本部長とする「地域創生推進本部」を設置

イ 「兵庫県地域創生戦略会議」の設置（平成27年5月）

- ・ 地域創生戦略の策定・推進にあたり、産学官金労言の有識者による指導助言を受けるため「兵庫県地域創生戦略会議」を設置
- ・ 各地域の特性に応じた戦略を策定・推進するため、各県民局・県民センターにおいて、地域別戦略会議を設置

(3) 戦略の概要

ア 2060年における兵庫の展望

① 兵庫の姿

2060年に実現を目指す「人口が減少しても活力ある豊かな兵庫の姿」を「地域のあり方」

「暮らしの基盤」「交流」「人」「産業」の5つの視点から展望

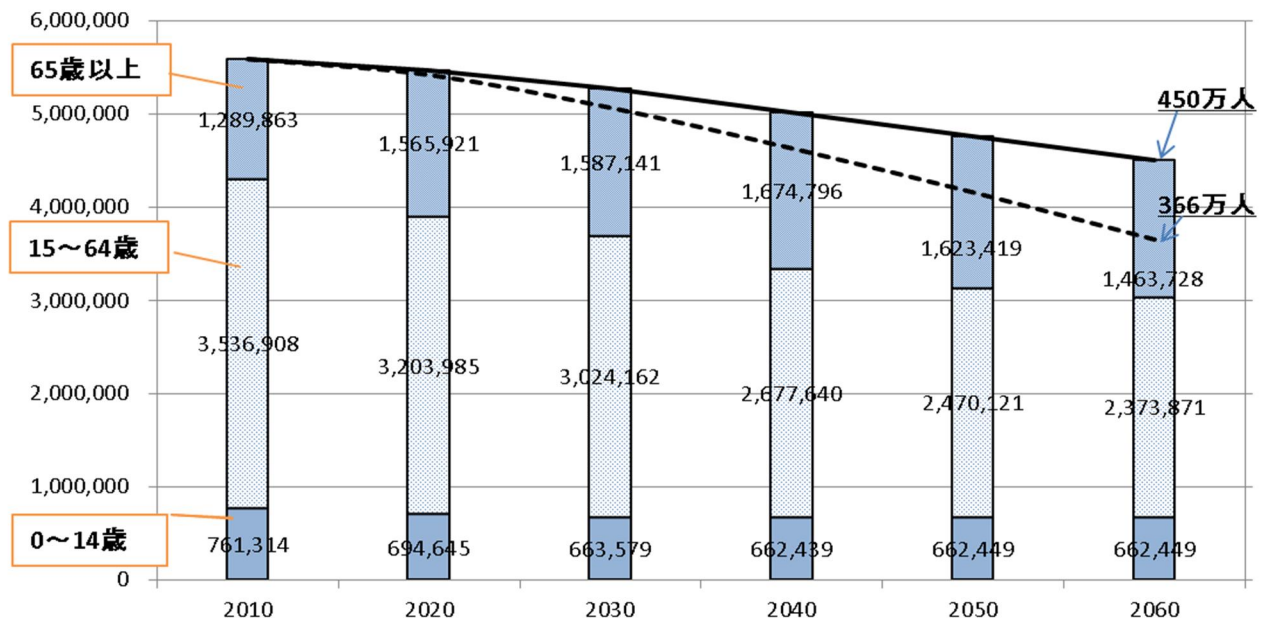
- (ア) 個性ある多様な地域の中で心豊かな暮らしが実現する兵庫
- (イ) 医療、防災、多彩な歴史・文化の蓄積、教育力等に支えられた世界トップレベルの生活環境が確保されている安全安心の兵庫
- (ウ) 二地域居住等県内での交流が進み国内外からの来訪者があふれる兵庫
- (エ) 一人ひとりが持てる力を最大限に発揮でき、社会を支える主人公となる兵庫
- (オ) 世界経済をリードする基幹産業と地域に根ざした地域産業が県内全域で展開される兵庫

② 人口規模と経済状況

(7) 2060年の人口：450万人（取組を行わない場合：366万人）

(イ) 2050年代の県内総生産（GDP）成長率：1.5～2.0%程度

県民総所得（GNI）に占める海外等からの所得の比率を高める



※H27（2015）国勢調査（速報値）の人口は、5,536,989人（前回比▲51,144人）

イ 2020年まで（2015～2019年度）の目標及び対策

① 目標

(7) 人口対策（自然増対策）

出生数：2015～2019年度で22万人（4.4万人/年）の維持

(イ) 人口対策（社会増対策）

人材流入増加（流出抑制）数：2015～2019年度で25,700人

(ウ) 地域の元気づくり（東京一極集中の是正）

県内総生産（GDP）は国を上回る成長率を維持

県民総所得（GNI）に占める海外等からの所得の比率を高める

(エ) 2020年の人口規模と経済状況

人口対策により、人口規模は、547万人（2014年：554万人）になる

地域の元気づくりにより、経済状況は、

- ・ 県内総生産（GDP）で実質：23.0～23.6兆円、名目：21.7～23.0兆円、

- ・ 県民総所得（GNI）で実質：26.1～26.9兆円、名目：24.7～25.9兆円へ

② 対策（9つの基本目標）

【人口対策】

- 基本目標 1 多子型の出産・子育てが可能な社会を実現する
- 基本目標 2 地域に根ざした産業を振興する
- 基本目標 3 人や企業・資本が流入する兵庫をつくる
- 基本目標 4 個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる

【地域の元気づくり】

- 基本目標 5 兵庫の産業競争力を強化する
- 基本目標 6 健康長寿社会をつくる
- 基本目標 7 住みたい地域をつくる
- 基本目標 8 まちの賑わいを創出する
- 基本目標 9 県土空間の安全・安心を高める

ウ 戦略の特徴

- ① 人口の「自然増対策」及び「社会増対策」とともに、産業競争力の強化や兵庫の活力を支える県民生活の基盤確立など「地域の元気づくり」の3本柱で構成
- ② 兵庫の強みである多様なポテンシャル及び地域特性を發揮するとともに、個性が異なる各地域が相互に連携し、兵庫全体の総合力を高める「多様性と連携」を基本として対策を推進

【多様なポテンシャル】

地域創生の時代にあつては、経済力だけではなく、地域の総合力が求められるため、「安全・安心」「ものづくり技術」「先端科学技術基盤」「多文化共生の精神」「兵庫人の進取の気性」「平成の御食国」など兵庫の多様なポテンシャルを活用

【多様な地域特性】

地域の特徴や人口、産業等の状況を踏まえ、兵庫県を「大都市圏」「準大都市圏」「地方都市圏」「多自然地域圏」の4地域に区分し、全県一律ではなく、戦略的・重点的な対策を展開

- ③ 多様な地域特性に即したきめ細かな施策展開を図るため、県民局・県民センターにおいて「地域別の地域創生戦略」を策定

2 中播磨県民センター地域創生戦略 アクション・プランの策定について

(1) 策定趣旨

中播磨県民センター地域創生戦略（2015年～2019年）の着実な推進を図るため、施策・事業ごとの成果指標を明確にし、その進捗状況を管理するアクション・プランを策定した。

(2) アクション・プランの構成

戦略の2本柱である「人口対策」、「地域の元気づくり」ごとに、平成31年度までの年次目標値の達成状況を明確にするために次のように構成

- ① 5つの具体的な施策ごとに、総括的な重要業績評価指標（総括KPI）12項目を設定
- ② 平成29年度当初予算の中から、具体的な施策を達成するために必要な40事業について、平成31年度までの成果指標を設定

平成29年度版の総括KPI数、事業数等

区分	具体的な施策	総括KPI	事業数
人口対策	○ 若者の地元就業の促進 ○ 暮らしやすさNo.1のふるさとづくり	6項目	26事業
地域の 元気づくり	○ 播磨を支える産業競争力の強化及び産業 インフラの構築 ○ 都市と農山漁村との交流拡大 ○ 播磨ツーリズムエリアの形成	6項目	14事業
計		12項目	40事業

(3) アクション・プランに基づく、戦略の実施状況の検証 —KPIを活用したPDCAサイクルの確立—

- アクション・プランを基に、平成28年度の施策の実施状況を踏まえた中播磨地域戦略の評価・検証結果案を取りまとめ、中播磨地域創生戦略会議（地域別）の意見を聴取
- 意見等を踏まえた評価・検証結果については、本庁（地域創生課）に報告し、全県版の戦略会議とともに、9月に県議会に報告（条例に基づく）
- 今回のアクション・プランは、平成30年度重要施策及び予算編成に活用していく。
- 総括KPI等は、情勢の変化や施策の展開状況を踏まえて、適宜見直しをする。